

福岡座禅道場俳句会七月俳句会結果

天地

ふた心なき山梔子の白さかな

(宗道)

紅差して浴衣の五歳はや娘

(白堂)

太閤の割りし街並み山笠走る

(宗道)

山笠を追ふ犬の尻さへ逞しき

(霊峰)

1 人形師マイク片手に山笠飾る (宗道) 3

2 逆らえず苦きゴーヤを今朝も飲み (白堂) 4

3 見えねども傘濡らす雨梅雨最中 (寶州) 2

4 初蝉やひとつと鳴かばつられおり (真光) 5

5 雨止みのしじまに祭囃子かな (霊峰) 3

6 遠蛙夜半に届きぬかすかなり (寶州) 1

7 形見なる伯父の浴衣を今年干す (白堂) 4

8 太閤の割りし街並み山笠走る (宗道) 8

9 山笠を追ふ犬の尻さへ逞しき (霊峰) 8

10 背の高いひまわり持ちて見舞ふかな (真光) 2

11 新到のまたも見性紫陽花よ (寶州) 1

12 よくもまあ道の真中にかたつむり (霊峰) 4

13 山笠を写す園児等眼が光る (寶州)

14 土用丑一度は手に取り戻したり (白堂) 2

15 子ども山笠親も一緒に走りけり (宗道) 5

16 七夕雨別の空持つ人が立つ (真光) 1

17 紅差して浴衣の五歳はや娘 (白堂) 9

18 冷奴箸の重さに崩れけり (霊峰) 4

19 ふた心なき山梔子の白さかな (宗道) 11

20 夏の山自慢する嬬二三人 (真光)

21 夏草のあふるる軌道先頭車 (寶州) 2

22 花菖蒲だらりと垂れて科作り (宗道) 3

23 梅雨晴れ間花どろぼうの浮かれ顔 (真光) 1

24 持ち重りしてラムネは妻と二人分 (霊峰) 2

次回8月句会の投句締切は、  
23日(日)です。  
暑い中ですが、宜しくお願いします。

